

陸域動物に関する環境保全措置
【河川水生動物の移動計画（案）】

平成 27 年 6 月 5 日

沖 縄 防 衛 局

目 次

1. 目的.....	1
2. 環境保全措置の基本的考え方.....	1
3. 環境保全措置の実施内容.....	2
3.1 河川水生動物の移動元.....	3
3.2 河川水生動物の移動対象種.....	4
3.3 河川水生動物の移動先.....	6
3.4 河川水生動物の移動方法.....	23
3.4.1 捕獲方法.....	23
3.4.2 同定・仕分け.....	23
3.4.3 輸送方法.....	24
3.4.4 放流方法.....	25
3.5 モニタリング調査計画.....	26
3.5.1 調査の考え方.....	26
3.5.2 調査地点.....	26
3.5.3 調査方法.....	26
3.5.4 調査頻度・期間.....	26
3.5.5 調査結果の検討.....	26

1. 目的

代替施設本体の設置等に伴う土地の改変により、改変区域に位置する美謝川等に生息する河川水生動物の生息域が消失する。

この消失の影響を低減するため、普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書(以下「評価書」という。)では、改変区域内に生息する重要な河川水生動物種について、工事の着手前に、近傍河川へ移動を行う環境保全措置を講じることとした。

本計画(案)は、河川水生動物の移動元、移動対象種、移動先、移動方法及び移動後のモニタリング方法について実施内容を取りまとめたものである。

2. 環境保全措置の基本的考え方

河川水生動物の移動に関する基本的考え方を以下に示す。

① 移動元(移動させる範囲)

移動元は、代替施設本体の設置等に係る改変区域にかかる河川とする。

② 移動対象種

移動対象種は、環境省や沖縄県レッドデータブック等に記載されている「重要な種」とする。

③ 移動先

移動先は、川と海を行き来することのない昆虫類等の生物については美謝川上流部に、川と海を移動する回遊性の生物については大浦川とする。河川における移動対象箇所は、各移動対象種の確認状況や生息環境の調査結果をもとに種ごとに選定する。

④ 捕獲及び移動方法

捕獲及び移動は、各移動対象種の生態情報を踏まえて、生物に影響を与えない方法を選定する。

⑤ モニタリング調査計画

モニタリング調査は、移動先における各移動対象種の生息状況を確認するとともに、移動先及びその周辺における生物相について大きな変化が生じていないかどうかを確認することとする。

3. 環境保全措置の実施内容

河川水生動物の移動に関する実施内容について、図-3.1 に示す流れで検討を行った。検討は、以下の3つの部分に分けて実施した。

1. 移動元に関する検討は、移動元とその範囲を検討した上で、移動対象種を抽出し、各移動対象種の生息環境条件を、現地確認状況及び既存知見による生態情報から把握した。
2. 移動先に関する検討では、移動先候補における生息環境の分布状況を現地踏査により把握し、1. で把握した各移動対象種の生息環境条件を踏まえ、移動先を選定した。
3. 移動方法に関する検討では、移動対象種ごとの生態情報を踏まえ、捕獲、同定・仕分け、輸送、放流の各方法について検討を行った。

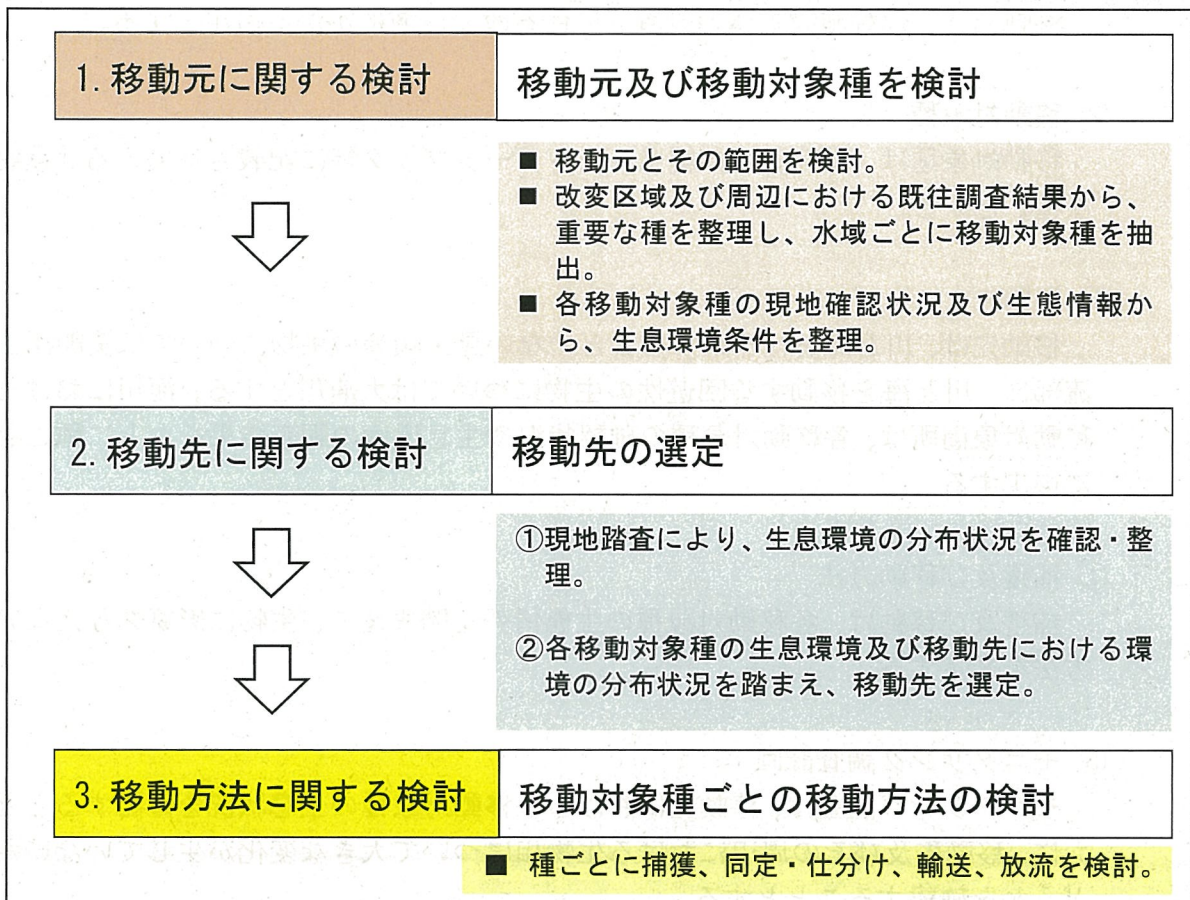


図-3.1 河川水生動物の移動の実施内容に関する検討の流れ

3.1 河川水生動物の移動元

河川水生動物の移動元の範囲は、移動対象種に回遊性の生物が含まれることから、
改変区域内に位置する河川のうち、河口からの遡上を阻害する河川横断構造物（ダ
ム堤体等）までの区間とし、美謝川の中・下流部及び基地内の小河川2河川の計3
河川とする（図-3.1.1）。

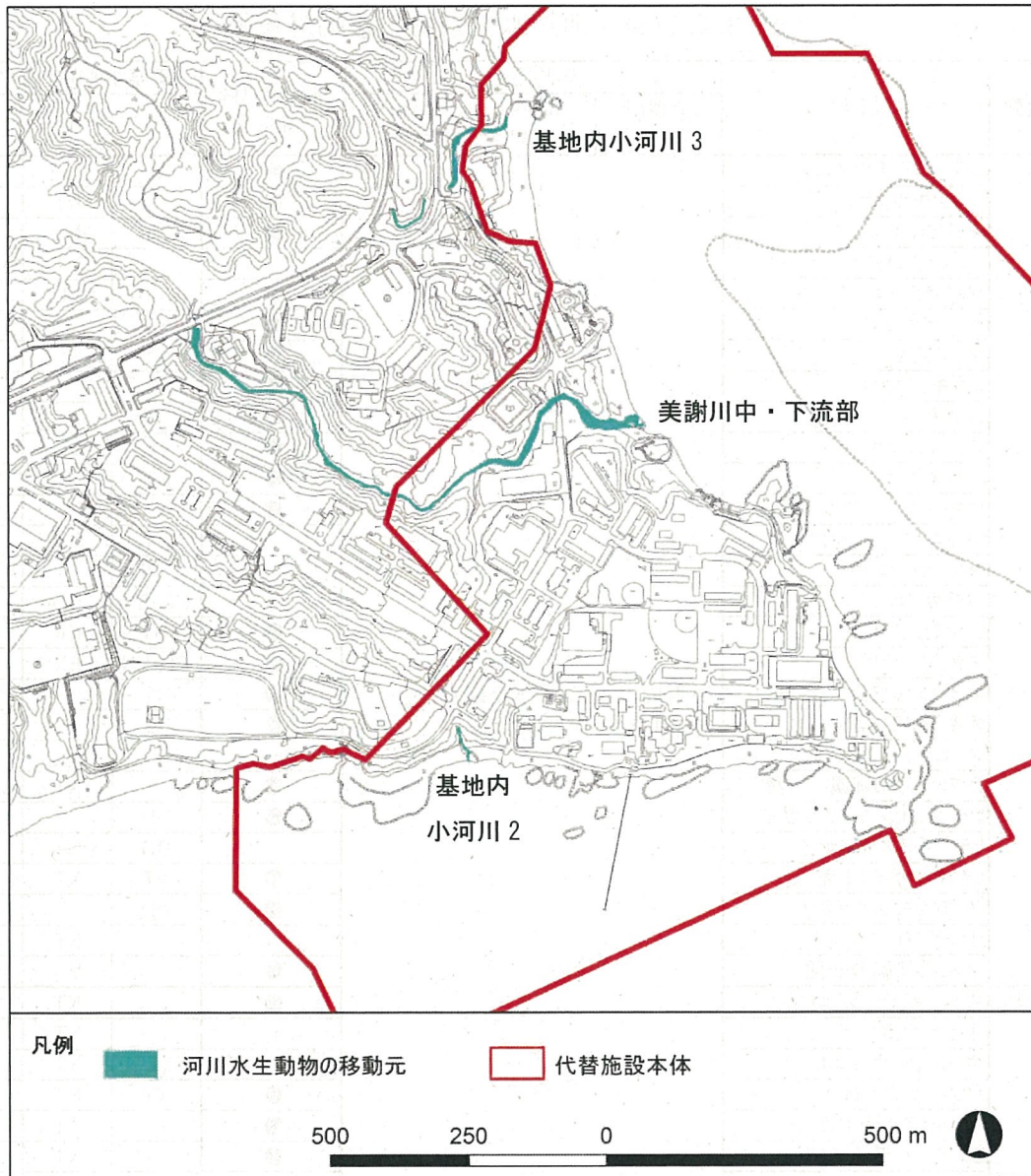


図-3.1.1 河川水生動物の移動元範囲

3.2 河川水生動物の移動対象種

河川水生動物の移動対象種には、評価書において保全対象種に選定された 22 種に、評価書に係る調査以後の継続調査及び今回の現地確認調査で新たに確認された 42 種を加えた 64 種（貝類 27 種、甲殻類 15 種、昆虫類 8 種、魚類 14 種）を選定した。選定した移動対象種を表-3.2.1 に示す。なお、実際の捕獲作業において新たに重要な種が確認された場合は、対象に含めるものとする。

表-3.2.1(1) 河川水生動物の移動対象種

分類群	種名	確認箇所			評価書以降 の確認種	重要な種選定基準 ^{1),2)}			
		美謝川 中・下流	基地内 小河川 2	基地内 小河川 3		A	B	C	
貝類	ニセヒロクチカノコ				●	NT			
	ムラクモカノコ				●		NT		
	キジビキカノコ				●	NT	NT		
	カバクチカノコ						NT		
	ツバサカノコ				●	NT	VU		
	ヒロクチカノコ				●	NT			
	フリソデカノコ				●	NT			
	コウモリカノコ				●	NT			
	シマカノコ				●	NT	NT		
	オカイシマキ				●	VU	VU		
	コハクカノコ				●	NT	NT		
	ウスベニツバサカノコ				●	NT			
	ベッコウフネアマガイ					NT	DD		
	ヌノメカワニナ					NT			
	ムチカワニナ					CR+EN	DD		
	アマミカワニナ				●	CR+EN	CR		
	スグカワニナ				●	CR+EN	EN		
	オイランカワザンショウ	※重要な種の保護の観点から、 表示していません。				●	NT		
	オキナワミズゴマツボ					●	NT		
	クロヒラシイノミガイ						NT		
	カワコザラガイ属の一種					●		NT	
	コシダカヒメモノアラガイ					●	DD		
	ヒラマキミズマイマイ						DD	NT	
	ヒラマキガイモドキ					●	NT	NT	
	タイワンモノアラガイ					●	DD		
	オキナワドブシジミ							NT	
	マメシジミ属の一種					●		VU	
甲殻類	スベスベテナガエビ					●		NT	
	オオテナガエビ							NT	
	ネットタイテナガエビ						VU	NT	
	ツブテナガエビ					●	NT	NT	
	イワトビベンケイガニ					●		NT	
	ヒメアシハラガニモドキ					●		NT	
	タイワンベンケイガニ					●		VU	
	リュウキュウアカテガニ						VU	NT	
	トゲアシヒライソガニモドキ							VU	
	アゴヒロカワガニ							NT	
	チゴイワガニ					●		NT	
	ヒラモクズガニ							NT	
	コウナガイワガニモドキ					●		NT	
	ニセモクズガニ					●		VU	
	タイワンオオヒライソガニ					●	DD	NT	